

# 令和5年度 「ふれあい地域懇談会」報告書

## < 大船地域 >

日 時	令和5年（2023年）7月7日（金） 午後2時～4時
場 所	鎌倉芸術館 集会室
出 席 者	自治会・町内会代表 26名（うち2名オンライン） 地域団体代表 1名 計27名 鎌倉市 7名
内 容	<p>第 1 部 市長からの説明..... P. 1 （1）市庁舎移転及び現庁舎の整備等について （2）戸別収集の実施検討について （3）かまくらこども相談窓口「きらきら」について など</p> <p>第 2 部 地域からの議題に関する懇談..... P. 21 （1）北鎌倉トンネルについて （2）隧道について （3）震度計の設置について （4）崖地の樹木の伐採等について （5）ごみ問題について （6）自治町内会等について （7）公園等の設置について</p>

出席者名簿 (敬称略)

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	山ノ内瓜ヶ谷町内会	志水 曜介	会長 (オンライン)
2	山ノ内明月会町内会	野崎 邦子	会長
3	山ノ内中町北町内会	古川 均	会長
4	山ノ内中町南町内会	鈴木 三千子	会長
5	山ノ内下町上町内会	亀井 豊三郎	会長
6	山ノ内下町中町内会	飯田 侑希	会長
7	末広町町内会	齊藤 利昭	会長
8	鎌倉市大船自治町内会連合会 (大船地区社会福祉協議会) (戸ヶ崎町内会)	伊勢 拓人	副会長 (会長) (会長)
9	戸ヶ崎あけぼの会町内会	市川 裕	会長
10	市場町内会	北村 充成	会長
11	台町内会	山ノ井 信弘	会長
12	鎌倉市大船自治町内会連合会 (つるまい町内会)	秦 豊昭	副会長 (会長)
13	大船仲通町内会	権頭 泰雄	会長
14	梅田町内会	齊藤 勇	会長
15	松竹前町内会	岩崎 安男	会長
16	小袋谷町内会	朝香 富士夫	会長
17	離山町内会	後藤 広二	会長
18	栄町町内会	宮本 大地	会長 (オンライン)
19	南ヶ丘自治会	菅 暉夫	会長
20	谷之前自治会	渡邊 哲夫	会長
21	鎌倉市大船自治町内会連合会 (大船町内会)	田子 祐司	会長
22	岩瀬町内会	安増 裕治	会長
23	今泉町内会	高橋 育雄	会長
24	今泉台町内会	山本 昭夫	会長
25	高野台自治会	芹沢 俊明	会長
26	コープ野村鎌倉・台自治会	関戸 勇	会長

【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	第七地区民生委員児童委員協議会	角田 孝子	会長

**【鎌倉市】**

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	市民防災部長	永野 英樹	
3	環境部長	能條 裕子	
4	都市景観部長	古賀 久貴	
5	都市整備部長	森 明彦	
6	まちづくり計画部次長	久保 智史	
7	大船支所長	茂木 健太郎	

# 第1部 市長からの説明

## 【全地域共通】



---

令和5年度 ふれあい地域懇談会

# 第1部 市長からの報告

鎌倉市長 松尾 崇

---

# 1. 市庁舎移転及び現庁舎の整備等について

2

**鎌倉市役所移転に関する条例を提案  
賛成 16 反対 10で、出席議員2/3に足らず否  
決**

移転に向けた  
動きがわかりにくい

市民への情報共有が  
不足している

3

## なぜ 深沢のまちづくりを行うのか！？

昭和62年 深沢地区に約8.1 ha の国鉄清算事業団用地が誕生

第3の都市拠点形成することで、

- ・ 人口減少、少子高齢化
- ・ 社会インフラ、公共施設の老朽化
- ・ 市の財政基盤の強化

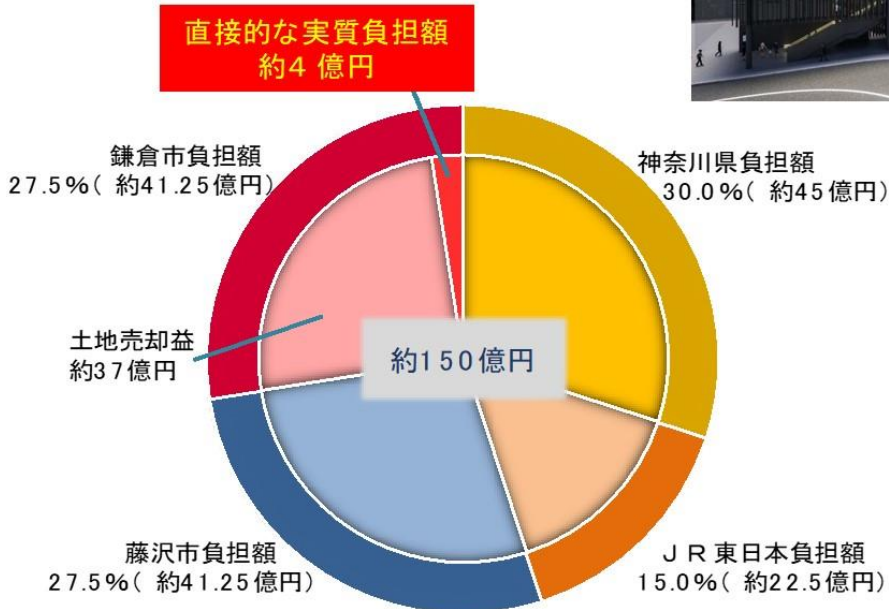
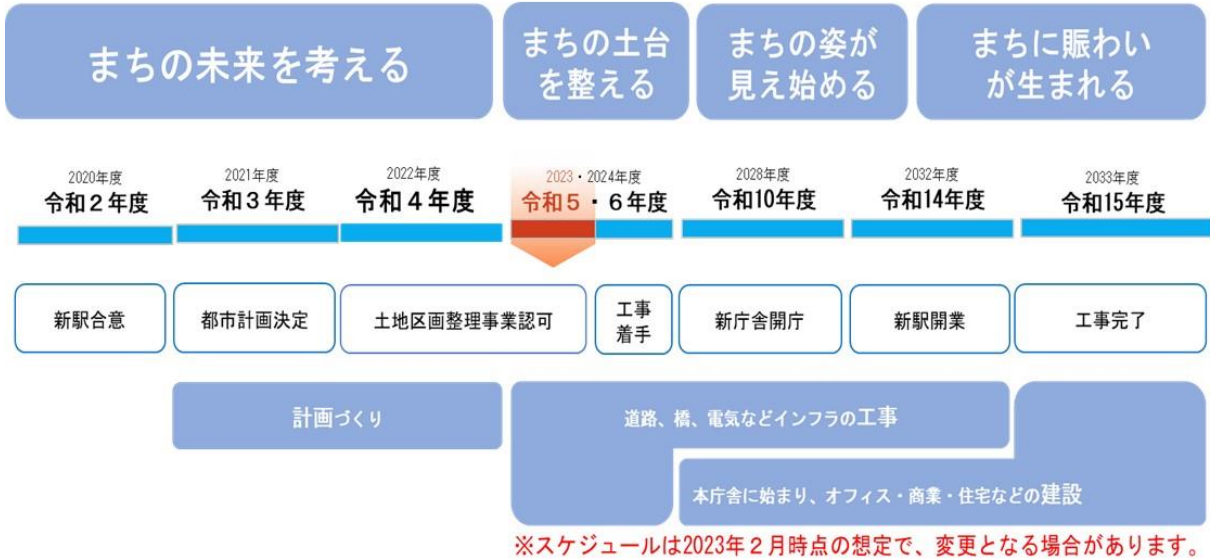
等の様々な課題に対応します。



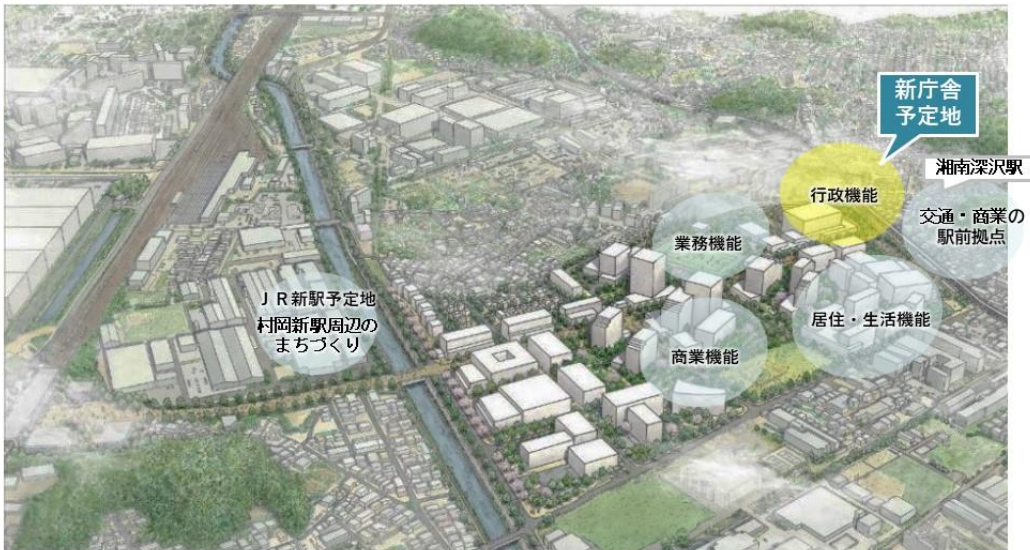
## まちづくりのコンセプト

グリーン × イノベーション  
**GREEN × INNOVATION 深沢**  
～地球の未来を守るための鎌倉深沢の新たな挑戦～









新庁舎は、市庁舎、地域図書館、学習センター、消防本部・消防署を複合した施設の整備を計画しています

# 新庁舎

- 1 まもる** ～災害に強くなります～

<p>耐震性能を備える</p> <p>大地震発生時も災害対応拠点として機能！</p>	<p>オンラインでの業務体制を備える</p> <p>様々な災害発生時も業務継続可能！</p>	<p>受援力を備える</p> <p>自衛隊、支援物資などの大規模な受入れ可能！</p>	<p>エネルギー・給水を備える</p> <p>ライフライン途絶でも概ね3日間自走可能！</p>
--	--	---	---
- 2 やさしい** ～サービスの提供方法が変わります～

<p>全ての手続・相談が原則オンライン可能</p> <p>自宅等からスマホで簡単！</p>	<p>対面型の窓口も設置</p> <p>オンラインが苦手な人も安心！</p>	<p>ワンストップ・サービスの導入</p> <p>一か所で全て完結！</p>	<p>予約制も導入</p> <p>待ち時間短縮！</p>
---	--	--	------------------------------
- 3 つながる** ～市民活動スペースが充実します～

<p>深沢図書館・学習センターの複合化！</p>	<p>カフェ等のほかフリースペースを導入！</p>	<p>まちづくり情報などを発信！</p>	<p>市民活動・市民交流スペースを大幅拡充！</p>
--------------------------	---------------------------	----------------------	----------------------------





- ・災害時、市役所との連携強化（アナログでも連携）
- ・グラウンドや市役所と連携した受援体制の強化
- ・グラウンドや体育館を活用した災害訓練（子どもたちが参加する防災イベント）

## 市庁舎現在地 ひらいて むすんで 知恵うむ “ふみくら”



## 中央図書館



## 生涯学習センタ



- ・老朽化、バリアフリー対応不足
- ・蔵書の収蔵や閲覧席スペース不足
- ・学習できるスペースがない
- ・雑談できるスペースは少ない

老朽化による維持管理費の増加の他、  
学習センターは借地

## 図書館・学習センターの事例



## ONE DAY PLAYPARK(市庁舎現在地の体感イベント)



約**2,500**人の方にご来場いただきました

14



### 本庁舎移転や深沢のまちづくりに関する 「出張意見交換会」のお知らせ

- 「市役所移転の理由がわからない」「深沢のまちづくりの中身がわからない」「これからの公共施設を、市はどう考えているの?」といった市民の方の声をいただくことがあります。市では、できるかぎり多くの方々とまちづくりの取組を共有し、意見換しながら、いっしょに進めていきたいと考えています
- 地域の方から「本庁舎移転」や「深沢のまちづくり」などについて、説明や意見交換の要望がある場合、身近な場所で「出張意見交換会」を開催します。地域共生課までご連絡ください。23-3000（内線2660）

15



## 2. 戸別収集の実施検討について

16

### 戸別収集の実施検討について

#### 実施理由（なぜ検討するのか）



#### ◆クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減

- 高齢者や子育て世帯、多様なライフスタイルのもとで生活するすべての方々のごみ出し労力の軽減
- 不法投棄や動物被害の対応、設置場所の調整、当番制による管理などクリーンステーションの維持管理にあたって生じる負担軽減

#### ◆ごみの減量のため

- ごみ出しの責任が明確化され分別が進み、ごみの減量につながる  
**持続可能な収集体制**を構築していく

17

## メリット、デメリット

### ◆メリット

- 市民のごみ出し労力の削減
- クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減につながる
- ごみ出し責任の明確化により分別が進みごみの減量につながる

### ◆デメリット

- 収集箇所の増加により、収集時間がかかってしまう
- 車両を増やして収集する必要がある
- 収集に要する経費が増える

18

## 疑問点、懸念点

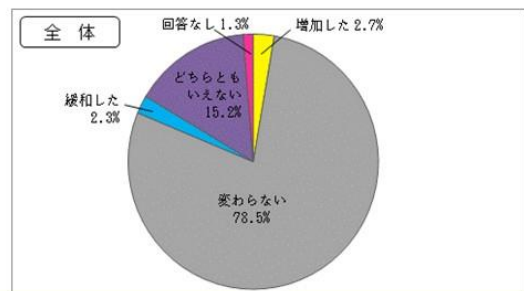
### Q.動物被害が心配。

A.ご家庭に応じたバケツやネットをご用意いただくことを想定しています。また、モデル事業時のアンケート調査では、クリーンステーション収集の時に比べ、カラス等の被害が「減った」あるいは「変わらない」と回答した方は83.6%でした。



### Q.交通渋滞がおきるのでは？

A.モデル事業時のアンケート調査では、交通渋滞等道路環境の変化について「変わらない」と回答した方は78.5%でした。モデル事業時にも狭隘道路での収集を行いました。問題は生じていません。



19

## 現在の取組み

### ◆収集体制の構築

- 効率的な収集に向けたエリア分けの見直し
- エリア特性（狭隘地区、共同住宅、住宅団地地区など）に応じた収集方法見直し
- 収集曜日、収集回数や分別区分の適正化

### ◆収集、制度構築にあたって必要となる経費の算定

⇒経費に対する考え方を整理した上で、意見公募を行うため全体的な経費見直しを作成

## 今後について

戸別収集のあり方について審議会で審議

⇒実施方針案の策定

⇒市民説明会・実施方針案に対する意見公募

⇒実施方針確定

## 3. かまくらこども相談窓口 「きらきら」について



開設

# かまくら こども相談窓口 きらきら



令和5年(2023年)4月3日に相談の拠点となる窓口を市役所第6分庁舎に開設しました!

22

## かまくらこども相談窓口「きらきら」について



個室の相談室

個室で安心して相談  
できます。



オンラインで各課等と相  
談ができます。



- ・ゆっくりとお話を伺ったうえで、必要な部署と連携し、対応します。
- ・関連する担当間で情報を共有し、部署の垣根を越えた支援に繋がります。
- ・窓口からオンラインでの相談もできます。



23

## かまくらこども相談窓口「きらきら」について

・子育てメディアスポットを市役所本庁舎から移設するとともに、情報発信コーナーを拡大しています。



情報発信エリアを拡大しています。また、子育てに関する書籍や子供向けの本等を配置するエリアを設けています。



ラウンジでは休憩や離乳食の持ち込みもできます。



24

## かまくらこども相談窓口「きらきら」について

・授乳室（2部屋）やキッズスペースを設置しています。



授乳室は個室で鍵もかけられます。



キッズスペース、絵本、おもちゃも揃っています。



・いつでも遊びに来てもらって構いませんので、お気軽にお立ち寄りください。

25

## 4. 災害時の避難所について

26

### 災害時の避難所について①

#### ● 地震災害時

市立小中学校（25校）

開設条件（職員自動参集）

- 市内で震度5強以上の地震が観測されたとき
- 隣接する市（横浜市にあっては区）で震度5強以上の地震が観測されたとき

27

## 災害時の避難所について②

### ● 風水害時

市立小学校（16校）  
行政センター（4か所）  
ほか

## 第1部 市長からの説明に対する意見・質疑

### <南ヶ丘自治会 菅会長>

鎌倉市役所の移転に関しまして、移転に関する条例が否決されましたけれども、否決されたことによってこの計画がどの程度阻害され、ないしは否決されても計画どおりやっていくのか。どうもその辺の整合性がよく分からないので、ちょっとご説明いただけますか。

### <松尾市長>

ちょっと詳しく説明をしますと、市役所の位置を移転させること、住所の変更について議会の3分の2以上の賛成が必要という議案でございまして、これを議会にかけました。これが否決されているという状況では、新しい市役所の詳細の設計にこれから入っていこうというところの手前で、議会に位置条例の賛成をいただくということを考えて、そういう手順で進めているという状況でございます。ですので、賛成が得られなければ新しい市役所の詳細設計には入れないと考えておりまして、今そこでストップしているという状況です。

この議会の議決が得られない期間が長引けば長引くほど、新しい市役所の開庁時期が遅れるというのが影響としてはそこが一番大きいところです。私も鎌倉市としましては、住所の否決をされましたけれども、市役所移転という計画は変更せずに、より住民の皆さんや議会の理解を得られるように繰り返し説明させていただきながら、賛成が得られるように努力していくという考え方でいま進めています。

### <山ノ内中町北町内会 古川会長>

いま市長の方から、位置条例が否決されたということは、移転地のことをおっしゃっているかと思うのですが、そこが反対されているということは、当然反対の中には位置の指定を変更する意思はないようなお話ですが、見直すということの反対の中での提案は全くなかったのでしょうか。位置条例の反対に対する対案というものは全くないのでしょうか。検討の余地が全くないのでしょうか。

### <松尾市長>

検討の余地がないというのは、鎌倉市としてないかどうかですね。鎌倉市としては、これまで検討してきた経過の中で、この深沢に新しく市役所を造るということの手段というのが一番いいという結論を導き出しておりまして、これをやらないとなった時に、市役所を今の場所で建て替えられるのかどうか、もしくは耐震補強してやるのかどうかということについては、我々とするとはほぼ現実的ではないという結論を持っておりますので、そこに立ち返るということはないと考えています。議会で否決をされましたけれども、その反対のご意見の中で言えば、いま一度それを戻すということではなくて、その先の不安のことをおっしゃられていたりします。

先ほど申し上げたように、まだ市民が知らないじゃないかというそもそも論の話もございました。さらに言うと、今の市役所の場所が全く何もなくなってしまうのではないかという不安ですとか、今の市役所の周りの方が市役所の手続が今までは近くでできたのにそれができなくなるという不安がある。そこについて、そうじゃないよという説明をちゃんとすべきではないかというご意見もいただいているところですので、反対意見をいただいているものをクリアできるように1つ1つできるところについてはできる限り明確に今後の計画で示していくということを現在やっているところです。



**<山ノ内中町北町内会 古川会長>**

結論的にまとめますと、反対の意見の中には、代替地の提案でとりあえず検討をするテーブルに載るものはなかったということによろしいですか。

**<松尾市長>**

そういうふうを考えています。

**<小袋谷町内会 朝香会長>**

戸別収集のところでメリット、デメリットとありまして、メリットは分かるのですが、デメリットのところで収集に要する経費が増えるというのがあります。これはどれぐらいを予想していて、それは充分クリアできる、理解も得られるという判断で進めているのでしょうか。

**<松尾市長>**

実は前回、戸別収集を検討して理解が得られなかった時の試算の費用負担が、2倍以上収集費用が増えるという見通しが出ていたものがございました。この間、近隣他市ですとか、戸別収集が導入される自治体はかなり増えてきました。我々もそういうところを研究させていただく中では、2倍に増えているという自治体はまずありません。大体1.2倍から1.5倍ぐらいの間で増えているというところが中心的なものになってきています。我々とする、なんとかそれぐらいに抑えられるように収集ルートや収集回数の工夫ですとかをさまざまに検討して、なるべく費用負担を抑えていくということを考えています。まだ具体的にいくらになるというところまでの結論は出ておりません。

**<小袋谷町内会 朝香会長>**

それに関係してですが、当町内会の場合はほとんどネットボックスを設置したのです。将来的にこういった形になると、私の考えでは燃やすごみに関することだと思っておりますが、そうすると容器包装プラスチックあるいは他の収集ごみに関してはボックスを使えるのであればいいなどは思っているのですが、最終的にはボックスを撤去したいということでしょうか。

**<松尾市長>**

これも実は1つポイントにはなりません。おっしゃるように燃やすごみだけを戸別収集するのか、もしくは全品目を戸別収集するののかというところは、大きく分かれるところです。まだ議論しているところでありまして、私としては最終的には全ての品目について戸別収集をしていくというところを目指していきたいと考えておりますが、それはいっぺんにできるというところは難しいかなと考えます。段階的にそこを目指していくということが望ましいと考えているところです。

**<小袋谷町内会 朝香会長>**

おそらく各町内会で説明会なんかがあると思うのですが、それはきっと話に出ると思います。市民の人たち



がお金を出し合って、町内会からも負担してつくったものですよね。設置するのはそれでいいのですが、今度はそれを撤去、廃棄するとなった場合に、廃棄費用が当然かかるわけですね。そういったことについての説明もきつと求められると思うのです。ですから、それに関してもきちんとした回答できるようにしておいていただいて説明会をしていただければなというのは1つあります。よろしくお願いします。

#### <今泉台町内会 山本会長>

先ほどの話にちょっと戻りますが、市役所の移転、それから深沢のまちづくりですね。ご説明の中に道路事情についての説明がなかったのですが、位置条例の反対の中にもアクセスの問題を取り上げている議員がいたと思います。まちづくりの一番肝になるのがやっぱりアクセスの問題ですね。まちづくりの中身そのものの問題ですけれども、道路事情をどういうふうに改善するのかしないのか、その辺の説明を改めて聞かせていただきたいと思います。

#### <松尾市長>

ご指摘のとおり、議会の中でも道路事情についてはかなり議員からも意見が出ているところで、我々もそこについて議論してきたところです。具体的な取組としては、深沢小学校の前の道路のところが大変車道も狭く歩道も充分でないという状況がございます。ここにつきましては、現在、詳細の設計をして道路整備をしていくという方針で、今年度予算をつけて進めているということが1つございます。もう1つが、全体で見ますと深沢のまちづくりの周辺ですね。三菱電機の周辺を含めて、道路としてはきちっと整備をしていくというところは、このまちづくりの中で進めていくということがあります。

それから、もうちょっと周辺でいいますと、藤沢から深沢を通る県道がありますけれども、こちらについてもかなり渋滞をしているという状況があります。その課題解消に向けては、手広の交差点などは右折レーンが充分でないようなところがありますので、これは神奈川県在所管にはなるのですが、鎌倉市としても用地取得の問題ですとかそういうところをしっかりと一緒になって取り組みながら、右折レーンをつけるなど具体的に進めていくということをやっていきます。あとはバスベイですね。バス停があるところで渋滞が起きないようにバスベイをつくるための用地買収を、本来は神奈川県でやる部分もありますけれども、鎌倉市としてもしっかりと用地交渉に入りながらというようなところを具体的に進めているところになります。

#### <今泉台町内会 山本会長>

見通しを聞きたいのですが、本当にそれができるのかどうか。用地買収の話が出ましたけど、用地買収は簡単な話ではないですよね。挫折することが結構多いのですが、その辺の見通しはかなりついていると思ってよろしいですか。

#### <松尾市長>

具体的には、手広の交差点で言わせていただきますと、ほっともつとの前は既に広がっていて、その先が詰まっているというところがありますので、そこについてはまだ承諾を得られていませんけれども、きちっと話し合いに向けて交渉していくということになります。特に何か建物が建っているというわけではありませんので、大きな障害はないと捉えておりますので、しっかりと交渉して結論を出したいと思います。

### <大船仲通町内会 権頭会長>

私は大船の者の代表をしているわけではないですけど、個人的には市役所がどこへ移転しても大船については何かあれば鎌倉の本庁舎に行くわけだから、それが深沢に動くだけで、別にそれはどうでもいい話だと思っています。ただ、駅の移転について、最初に駅の移転を希望した藤沢市と同じ金額の負担というのがまず1つあって、なおかつその37億円は新しいまちづくりで得る利益を使うというような話でしたけれども、去年でしたかね、まちづくりの説明会に出た時に、鎌倉市民がこの駅を使うのが、どこかに調査させたら6割だとか7割だとかそんなようなことを言われたと思うのですが、例えば鎌倉の人が大船に来て、大船から東海道線に乗り換えて、そこから歩いて新市庁舎まで1.6キロを歩きますかと。だったらモノレールかバスでしょう。あるいは大船の人がモノレールで行けるのに、わざわざ東海道線に乗って新駅から歩いて行きますかと。どうも利用者数のパーセントがちょっと信用できないというのものもあるし、ましてやその利益37億円も、もし使わなければ他の道路の方にも使えるでしょうしね。どうもよく分からない。

まちづくりで、そこへ来る人たちが使うのに利用できるのかもよく分かりませんが、湘南モノレールの湘南深沢駅があるのに、それが無いいろいろな人員の移動ができないから電車を使うために駅をつくるんだというなら分かりますけれども。なおかつ、駅の方には車は入れないと。駅まで行ってもフラワーセンター側には行けないとか、この駅をつくるメリットというのが、どうもそこに藤沢市と同じように合計41億円を払うというのもよく理解できないですね。どうなのですか。

### <松尾市長>

深沢のまちづくりをしていく中においては、これは湘南モノレールさんもおっしゃっているのですが、モノレールだけではキャパが充分ではないとおっしゃっています。深沢のまちづくり、村岡も含めてこのまちをつくっていく中では、やはり公共交通という意味では新しい駅というのが必要になりますし、深沢のまち全体の価値を高めていくというところでは、この新しい駅があるということは非常に重要だと思っています。

価値が高まる。これは旧来的な考え方と言われればそういう要素としてはあるかもしれませんが、土地の価値が上がっていく中において、その利益を導入していくという考え方になります。結局、元の原資というのはどういうことかですけども、先ほど申し上げましたように、深沢のまちの6割はJRが持っている土地ですので、これは減歩という言い方をするのですが、持っている土地から少し土地を頂いて、それを売却したお金が売却利益。それをこのまちに充てるわけなのですが、大きな土地を持っているところから、かなり大きな土地を頂くという形になっていくという、こういうつくりになります。そういう意味では、まちをつくっていく、そして全体の価値を高めてまちづくりを成功させていくという意味では、駅とセットでつくっていくというのは大事なことだというふうに考えます。

### <大船仲通町内会 権頭会長>

別にここに駅をつくったことで仲通り商店街が廃れてしまうとか、そういうこと言っているわけではないのですが、ただこれはもう別の話になってしまうのですが、どうも大船地域の体育館とか消防署とかが全部そっちへ行ってしまうと、大船からどどんんいろいろなものがなくなってしまうのではないかと、そういう心配が非常にあります。

**<松尾市長>**

ご指摘のとおり、消防についてはいま大船にあるものを深沢の方へ移転させて、消防本部を深沢に設置するという考え方で進めています。消防については実はこれだけではなくて、由比ガ浜にございますもともと消防本部だった場所を廃止して、鶴岡八幡宮に近い雪ノ下の方に移転するというを進めて、全体の消防署の再編を進めているところです。大船地域の皆さんのご心配というのはこれまでもお声をいただいていたところでございますので、そこについては引き続き協議をさせていただいて、何か具体的にカバーできる方法については協議をさせていただきたいと思っております。

**<大船仲通町内会 権頭会長>**

体育館はどうですか。

**<松尾市長>**

体育館につきましては、現在は大船と鎌倉にある2つの体育館を深沢に1つにするということを公共施設再編計画の中でうたっておりますので、大船と鎌倉にある体育館は今後なくなるという計画です。体育館をいくつも鎌倉市で持ち続けるというのはなかなか難しいと考えていますが、具体的な案については、現在、検討には至っていないという状況です。

## 第2部

### 地域からの議題に関する懇談

05 大船-1	北鎌倉トンネルについて
05 大船-2	隧道について
05 大船-3	震度計の設置について
05 大船-4	崖地の樹木の伐採等について
05 大船-5	ごみ問題について
05 大船-6	自治町内会等について
05 大船-7	公園等の設置について

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 大船-1
テーマ	北鎌倉トンネルについて
内容詳細	地権者との折衝はどうなっているのか伺う。 工事に着手できない具体的な理由について伺う。
担当部課	道路課

議題に対する回答等

北鎌倉隧道の安全対策の実施に向けて、土地の利用について、関係地権者の承諾が必要であることから、調整を行っていますが、承諾が得られていないため、引き続き関係地権者の御理解をいただけるよう努めてまいります。

添付資  
料

## (1) 北鎌倉トンネルについて

### <松尾市長>

北鎌倉トンネルにつきましては、ここに書いてある回答を見る限りでは、何も変わっていないというご指摘でございます。昨年も一昨年も、そういう意味では大船の懇談会では大変お叱りをいただきましたし、しっかりやれというふうにもいただいたところです。我々も手をこまねているということは決してなくて、この間、地権者との交渉を鋭意進めてきたところです。これまで、本当に皆さんにご迷惑をおかけして申し訳なく思っております。その発端といえば、当初、少し私が議会等でも話をし過ぎた部分というのがございまして、信頼関係みたいところで成り立っているところをなかなか組み立てられなかったという、私自身の反省でございます。

現時点で赤裸々に交渉内容をお話しすることは控えたいと思いますけれども、ただ、一定の車両の通行について整理をすることができました。これができましたので、地権者の方には工法について理解を求め、いま調整をしているところです。この調整がつけば、いよいよ工事に入れるというところでございますので、しっかりとご理解が最終的に得られるというところが、毎回もう直前だという話をしているかもしれませんが、もう一息合意が得られるように最終的に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

### <南ヶ丘自治会 菅会長>

去年も同じような話、8年以上にわたって我々にしてみるとだまされ続けてきたというか。それで具体的に、話がどんな形で決着しようとしているのか。ないしは何が問題でどういう地権者が何を反対しているのか。もっと具体的に聞かせていただかないと。去年も森部長が10月には決着をつけますと言ったのですよ。それなのに全く同じ回答ですよ。何を考えてこんなことを言っているのか、よく分からない。もっと具体的に、例えば緊急車両の通るような隧道にするのか、それでまつまりそうだとか、どういう地権者が何を反対しているのか、それを打破するにはどうするつもりなのか。なにか具体的にもうちょっと言っていたらいいかなと信用できないのです。皆さんのおっしゃっていることが。だって8年間ですよ。いいかげんにしてくださいね、本当に。

だから具体的にどういうようにして、どういう隧道の工事を今後いつぐらいにするという目途がどういう形で立っているとか。いつぐらいになれば話に決着がつくとか。なぜ決着がつかないのか。それも分からない。私は、説得力がなさ過ぎるんじゃないですか、地権者に対して。いち地権者ですよ。だから、うんと言えないような情報の秘匿というのはそんなに必要なのでしょうかね。まことに我々にとっては理解に苦しむ地権者がたぶんいるのだらうと思うのですが、そういう人とどうして膝詰めできちっと話ができないのか。その辺のところもちゃんと詳しく言っていたらいいかなと納得できないですね。8年、9年かかっているのですよ。あまりにも当事者意識がなさ過ぎですわな。

これでまた来年も同じような回答だったら、誰が責任を取るのですか。毎年こんなことを言ってぐずぐずやっているのですね。誰もなんの責任を取っていない。減俸処分にするとか、なんとかしたらどうですか、少しは。こうやって言い繕ってればなんとかなるとか、そのうち転属になるとかというような考えがあるのじゃないかと疑いたくなります。情けなさ過ぎるのじゃないですか。もうちょっとはっきりした具体的な回答がほしいです。



### <松尾市長>

率直に申し訳ございませんとしか言いようがないのですけれども、決して先送りにしたり、担当者が替わったりということではなくて、しっかり責任者はそのまま責任を持ってやっているところでございます。

一度、対策というところから方針を変更した中では、トンネルの機能を残しながら北鎌倉のトンネルを再開する、そのための工事をやっていくというのがいま鎌倉市として持っている計画になります。その計画を、車両は大型の救急車両は通れないもう少し小さいトンネル、つまりは従前の大きさと同じぐらいのトンネルで復旧をさせたいという案を持ちながら、現在進めているところです。

一昨年にもちょっとお話ししたかもしれませんが、あのトンネルの前後の土地所有者からは、土地所有者の許しなく勝手にあそこを車両が通行していたということについては遺憾だというお話がございまして、その整理ができない限り、他の地権者の方もいったんこの話は聞かないということが、市役所での会議で一度議題となりました。我々としては、その土地を持っている方に、そこを通行させていただけることのご理解をいただくということでこれまで進めてきて、そこについてはご理解をいただきました。ですので、今後、この方針で全ての地権者の方にご理解をいただけるというところを取っていくというのが、いま行っている状況でございます。そこについてご理解いただければと思います。

### <山ノ内中町北町内会 古川会長>

いま市長がおっしゃったことは、我々現地の住民としては、ほぼその内容は把握しております。それを今まで何も言ってこられなかったということは、ここで初めてそういうことの一部の地権者の方の車両の通行に関して真剣にお話しして、その車両の限定を特定されたということで理解しているのですか。例えば、人と自転車に限る。軽車両に関してはどうする。その軽車両は一般住民全てが通られるのか。現実的に現状では通り抜けできませんよね。前と同じサイズの、同じ交通量の状況を回復させるのであれば、過去に通っていた車両を持っている方の既得権というものを保証するということが当然出てくると思います。そういうことを考慮しての話というふうに理解してよろしいですか。

前後のトンネルのところで生活している住民というのは、我々北鎌倉の町内会の住民です。それぞれ既得権があって、生活を何十年してきたのですよ。市が一方的に、市道として検討の意思がなかったかどうかは分かりませんが、そこを無下にこういう方法で市道として使います、こういうプランがありますということで、何もきちんとした了解をとりつけられなかったことに反省をしていることに関しては、いま認められたのですよね。それで車両を限定されるということは、きちんと本当に内諾されたということによろしいのですか。自転車と人というふうに聞いていますよ、その方は。しかし、既得権を持っていた車両が通行していた世帯が何世帯かいるのですよ。そこの補償も含めて了解をとりつけられているということによろしいのですか。

### <松尾市長>

すみません、そこは交渉の過程なものですから、そこをはっきりと申し上げない方がいいというふうに私は判断するものですから。ただ、決してそれを無視してやっているわけではございません。

### <山ノ内中町北町内会 古川会長>

じゃあ最後に申しますけれども、我が中町北町内会においては、円覚寺の塔頭さん、雲頂庵さんを除いて、全ての塔頭が既得しております。その中で班長さんというのが、円覚寺さんの代表であります。本山の意向としては、全ての条件を鎌倉市に言って、判断を仰ぐのを待っていますというふう理解しています。ですから、円覚寺側は全て本山としては意向を伝え切っていると、判断するのは市の側ですよと言っていますから、そこに関係性を含めて、地権者のところの意見収集はいち早くできるというふうに来ていると思いますよ。そこを踏み込めないというのは、金銭的な問題なのか、絶対的なかみ合わない条件のところを何か説得策を考えてやっていこうとしているのか。そこは力量がなかったら、できないならできないで次の方にバトンタッチすべきですよ。

### <コープ野村鎌倉・台自治会 関戸会長>

この件については、2014年、9年前からですよ。これに長く関わってきた市役所の森さんは、最初から随分長く関わっていらしたと思います。市長もそうですけれども。

ずっと見ておまして、何年間も同じことの繰り返し。ただ、先ほど市長がおっしゃったトンネル前後の居住者の理解を得たというのですけれども、前後というのは、奥の居住者というのは誰なのか、手前が誰なのか、大体見当はつきますけれども、その方たちの自動車の通行権というか、どのような形で自動車を通るのかということの理解を得られたということなのだと思いますけれども、問題はそれだけではなかったはずなのであって、そもそもこれがなぜ起こったか。ここに話を戻すと、やっぱり市役所と円覚寺、当時は雲頂庵1つではなくて、円覚寺さんが一緒になってトンネルを壊してしまっただけという話だったのではないかなと僕は思っているわけですね。それに一生懸命推進運動をしたのがやっぱり市だったと思うのですよ。

変な地図をつくりました。森さんなんかもそれを持ってきて、そこで説明していましたが、崖をつくってそれで完全に開削されるという状況が議会でも認められたのを、松尾市長がそれを止めたということ、僕はものすごくそのことについては市長を大評価しております。本当に止めていただいてありがたいと思いました。

しかし、その後、一向に話が進展しない。ひとえに雲頂庵にあるのではないかと僕は思っております。今でもそう思っています。そのたった1人の雲頂庵をなんで説得できないのか。この8年間。足繁く通ったといって何月何日に行ったというのはずっと出ていましたけれども、その成果がなにひとつ得られていないというのはなんなんだと。雲頂庵で何を話し、雲頂庵をどのように説得してきたのか、そこを僕はお尋ねしたいんですね。森さんにもそれは聞きたいんだよね。何度も行って何にもならなかったとはどういうことなんだと。これ8年間ですよ。大変な時間です。その間、無駄なお金がすごく流れています。みんな無駄な思いをして鎌倉街道を通過して。子どもたちもそう。信号のあるところに交通整理員がいますけれども、なんの役にも立っていない。その方たちに支払っているお金も膨大なことと云ったら驚きですよ。市長と森さんにお尋ねします。

### <松尾市長>

決して誰かが悪いということでこの話がまとまらないわけではない、というふうに私自身は感じているところです。とはいえ、8年間通れなくなっていることについては、これはひとえに私の責任でございますので、私が責任を取る問題でございます。そういう意味では、申し訳ないのですけれども、その交渉内容について事細かくお話をさせていただくということについては差し控えさせていただきたいと思っております。

#### <都市整備部 森部長>

市長がおっしゃったとおりなのですが、我々としては、土地所有者の方と開削方法を改めまして現状のトンネルを保持したままで安全対策を行っていくという方向転換をしました。それらにつきまして説明をし、今の工法で交渉をしているというところでございます。基本的には安全対策を実施しているという形は当初と全く変わらずに現在も進めているところでございます。

#### <コープ野村鎌倉・台自治会 関戸会長>

8年間たぶんそういうやり取りをずっと続けてきていて、僕は自治会長になったのは初めてで、この席に初めて来ています。8年間ずっとこんなことを行われていたのかと思うとちょっと唖然としますけれども、今でも僕の答えに対しては前と同じで、詳細については返答できないという。要するに詳細のところが一番問題で何を話してどうなっているのか。雲頂庵さんは自分が悪役になっていいというふうに言っているらしいのですね。円覚寺の中でね。自分が悪役になってごねているから、それはその結果どうしたいのか。ごねてどうなるのか。今年中に片がつくのか。そういうことを聞きたいのですよね。知りたいというかな。もう一度お尋ねします。市長、いかがですか。

#### <松尾市長>

地権者のどなたがどうかというところは、いろいろとこの間、さまざまございました。決して雲頂庵さんがなにかごねているからだけで止まっているというようなことではなく、市の方の全体調整が、というふうに考えておりますので、そこを全ての地権者の方にご理解いただくというところで現在取り組んでおりますので、そこについてはご理解をいただければと思っております。

#### <コープ野村鎌倉・台自治会 関戸会長>

さっきトンネルの理解をいただいて工事を進めるということでありましたので、そこに期待をして、僕だけがお話ししても申し訳ありませんので、これで質問を切ります。ありがとうございました。

#### <鎌倉市大船自治町内会連合会 秦副会長>

なかなか難しい話で、このまま進めましても、今日結論をいただくというのはおそらく100%無理だと思います。我々とすれば、早くこの問題をふれあい地域懇談会のテーマから取り下げる、つまり結論をいただきたいということで毎回上げてはおりますけれども、今回も残念ながらこういう展開だったということです。引き続き進捗状況及び方向性が決まったということであるならば、我々自町連を通して事細かく事態の推移をいただいて、皆さんに返す。令和5年度に解決しますという文書ももらっておりますので、もう一度期待を込めて、今日はこういう結果となりましたけれども、これで終わらず、令和5年度の結論もきちっといただくということで、とりあえずこの問題については終わりにしたいと思っております。もちろんこれで当然終わりじゃないので、市長をはじめ担当の方にも、もう一度誠意を持ってやっていただきたいと。そういうふうに思っております。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 大船-2
テーマ	隧道について
内容詳細	岩瀬隧道（岩瀬中学校そばの隧道）、宮之前隧道（多聞院そばの隧道）の補強工事に関する要望（大船・岩瀬・今泉・今泉台）への対応について伺う。
担当部課	道路課

議題に対する回答等	
<p>岩瀬隧道については、平成30年5月にはく落が発生したため、修繕工事が完了しています。</p> <p>引き続き5年に1度の法定点検を行い、通行の安全を図ってまいります。</p> <p>「宮之前隧道」については、市では「谷戸ノ前隧道」として管理しています。</p> <p>谷戸ノ前隧道の修繕につきましては、「切り通しによる開削案」と「既存のトンネルを修繕する案」の比較検討を行いました。</p> <p>この結果、「切り通しによる開削案」では、掘削に伴い高低差約11mの多段法面の建設が必要となり、この掘削による発生土量約7,600 m<sup>3</sup>を運搬するには、4 t ダンプトラックで延べ約4,200台が通行することになります。また、使用する掘削機械の能力から、必要日数は約420日となり、1年2カ月程度の通行止めとなります。</p> <p>なお、工事費については、既存のトンネルを修繕する場合と比較し直接工事費ベースで約3倍となります。</p> <p>このことから、切通し周辺環境に影響が少なく、経済性に優れている「既存のトンネルを修繕する案」に決定し、詳細設計を策定しました。</p> <p>現在、修繕工事を実施すべく土地の所有者等と調整を行っています。</p>	
添付資料	

## (2) 隧道について

### <松尾市長>

岩瀬隧道と宮之前隧道への対応でございます。宮之前隧道につきましては、現在どのような形で修繕していくかについて検討しているところですが、対策というところでは、トラック4, 200台分の運搬が必要になることと工事費等の課題がございますので、方向性としては既存のトンネルを修繕するという形で決定をしまして、詳細設計を策定してきたところです。現在、周辺工事を実施するため土地所有者と調整を行っている段階でございます。

### <今泉台町内会 山本会長>

この問題につきましては、既に道路課から、今ここで回答されている内容と同じことはかなり前に提示されております。なぜそれで我々大船町内会、岩瀬町内会、今泉町内会、今泉台町内会の4町内会がこれで納得できないと言っているかということについて、市長は聞いておりますか。

工事費がかかる。日数もかかる。土を掘り返してトラックで運ぶ。こういうのに膨大なトラックの数が必要だとか、これについては既に説明を受けているのですよ。ただ、それで我々が分かりました、じゃあ従来どおり補強で済ませましょうと、そういう形で同意ができなかったことについての事情を市長は聞いておりますか。道路課長の方から話を聞いておりますか。

### <松尾市長>

対策をするというところで通行の確保、歩行者を含めた安全性の確保について求められていることについてはお伺いしているところです。

### <今泉台町内会 山本会長>

まず、あそこのトンネルは緊急時に、あの道路は我々にとって非常に重要な生命線にも関わる道路なわけですよ。そこを抜本的に見直していただかないと、将来的に非常に不安がずっと残ると。単にトンネルを補強するというだけの話では、将来的には非常に、言ってみれば補強するというだけの話で済むなら、それで結構ですよという話になるのですが、それでは済みませんよと。本当に大地震が来て崩れたりする場合もあるでしょうし、トンネルを補強しているとしても、上には非常に大きな木が生えっぱなしでどんどん成長していますね。あの木が倒れたらどうなりますか。下手すれば人命に関わります。トンネルの中が潰れる前に、あれが倒れただけで、もしかしたら子どもたちがあそこで犠牲になるかもしれない。あるいは誰かが車で通るときに、あそこに木が倒れてくる可能性もゼロではないですよ。というよりもかなり可能性が高いと見ているわけです。

市長も行ってご覧になれば分かると思いますけど、トンネルの上は樹木がものすごく成長しています。地権者との問題になってくるでしょうけど、その問題も含めてトータルに考えていただかないと、非常に問題になる。だから、私もトンネルではなく開削してほしいという話なのです。その問題について、ただ工事費がかかるとか日数がかかるという問題ではなくて、抜本的な生命に関わる問題だとして、市は明確な答え、ちゃんとした見解をお持ちでしょうか。まずそこをしっかりとすることが市の役割ですよ。市民の安全を守るというのが一番大事なことです。単に補強すればそれで済んでしまうという話ではないのです。

それから道幅もやっぱり狭い。緊急の消防車が入ってこられないという問題もあります。この問題について

多角的に考えていただかないと、あの問題についてこの4町内会が賛成というわけにいかないのですよ。同意できないのですよ。今後も同意しないつもりです。ちゃんとした答えが出ない限り。お分かりですか。

本来は市議会に対して陳情もしている話が前にありましたね。岩瀬隧道のところを2車線にしてほしいとか、10年、20年先の、あるいはずっと先々の話も含めて、道路の抜本的な改革をこの際やってほしいと言っているのに、それについては相変わらず同じ答えしか出てこない。これでは、はい分かりましたと町内会が納得できないのですよ。今までを考えれば。今後も反対します。

#### <松尾市長>

おっしゃるように、市民の安全をしっかりと守っていくということが責務でございますので、安全対策ということを行っていく必要があるということです。トンネル自体の安全については、工事でしっかりと守られるというものになりますから、そこはその方向でしっかりとやってまいりたいと考えています。

上部で樹木がかなり成長しているという課題は、鎌倉市内も各所あります。おっしゃるように宮之前隧道もそうだと思います。これにつきましては地権者がありますので、そこしっかりと交渉する中で、樹木についての危険がないように、ここだけではなくて市内各所にごございますので、そこもしっかりと対応していくということを考えているところです。

#### <鎌倉市大船自治町内会連合会 田子会長>

この問題を出させていただいたのだけど、確かに年に2回ぐらい話し合いに来られて、4町内会が集まってやらせていただいているのですが、まずこういうふうな形で出てきたのを、うちの町内会としては納得ができないよという話なのです。それで、これがまた出てきて、今度はどうなるのかといたら、安全対策、安全対策と。だったら、全部切っちゃった方が安全対策だよと。上にないんだから。だから、費用がかかってもいいじゃないかと。とりあえず道幅も広くなってということになっていたのですが、市の方は安全対策のためにやっぱり駄目だ、これでやる、というような形で言ったのだけど、いや、もっと幅広くしないと無理だろうと言ったら、50センチ幅を広げるだけですかね。

あと、今のトンネルで2車線は変わらないのに、あと50センチ幅広くして、あとの50センチは人が通れるようにして1メートル大きくするという。根本の考え方がちょっと違う。これで了承しろと言われても、非常に難しい。それでまた皆さん町内会で集まって、こうやって話し合っているけど、ものの考え方が非常に違うから、私なんかの意見はそういう視点ですけど、市長がそういうふうな考え方をされちゃうと、ちょっと皆さんも納得できないよという話。まわりの地権者の人たちにどこまで話をしているのかということもまだ見えない。

これは確か4年前かな、コロナ前に出てきて、議会でOKになっているのですが、その後に全然そういう意見だけで来られているから、もう少しちゃんとした意見で話し合いをしたいなということでここに上げさせていただいたということにして、ぜひその点もご理解いただきながら今後も進めていただきたいということです。

#### <松尾市長>

皆さん、ご要望というところはいただいてきたところでございます。引き続き協議はしっかりとさせていた

だきたいというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**<鎌倉市大船自治町内会連合会 秦副会長>**

いま市長からもお話があったとおり、引き続きいうことで。お話を戻しますけれども、4年ほど前に、大船、岩瀬、今泉、今泉台の各町内会が共同で7,800通の署名を集めました。補強工事でなく、切土にしてほしいという要望なのです。これに対して、今回は補強ということで納得がいかないということなので、いま市長がおっしゃったとおり、もう一度これを考え直していただきたいということが私どもの意見であります。よろしくお願いいたします。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 大船-3
テーマ	震度計の設置について
内容詳細	<p>横浜市では各区に2ヶ所以上、藤沢市は5ヶ所の震度計を設置している。</p> <p>鎌倉市でも、もう1ヶ所、御成町と地盤状態の異なる場所に震度計を設置してはどうか。</p> <p>場所については、市庁舎移転候補地、防災拠点候補地とされている深沢地域整備事業用地が最適だと考えるが、市としての考えを伺う。</p>
担当部課	総合防災課

議題に対する回答等	
<p>現在の鎌倉市の震度は、文部科学省所管の国立研究開発法人防災科学技術研究所が設置した震度計による数値です。</p> <p>現時点において震度計の増設予定はありません。新設、移設等を行う場合には、候補地の設置環境調査を実施のうえ、気象庁や県など関係機関と相談・調整を行ってまいります。</p> <p>観測される震度は地盤の影響を受けるため、市内各所で異なってくる可能性があります。市内の詳細な震度の分布図については、気象庁が「推計震度分布」（震度4以上対象）を、国立研究開発法人防災科学技術研究所が「J-RISQ 地震速報」を公開していますので、参考にご紹介します。</p>	
添付資料	「推計震度分布」気象庁





### (3) 震度計の設置について

#### <松尾市長>

地震の震度計の設置につきまして、現在、鎌倉市役所の敷地内にある震度計が低く出るのではないかという、こういうご意見というのはいただいてきたところでございます、こういうご提案につながっていると思います。現時点では増設という予定はございません。といいますのも、基本的な考え方なのですが、やはり緩い地盤とか震度が大きく出るような場所というのは、気象庁の方で震度計を設置する場所には適さないということで認められないということがあります。ですので、そういう意味では、認められた場所で震度計を設置しているという状況になります。

ただ、ご案内のとおりですけど、御成町全部が強固な地盤ということではなくて、市役所の敷地の中でも当然揺れやすい場所とそうでない場所というのもございます。市内でも強い地盤のところもあれば軟弱な地盤のところもございまして、そこによって揺れる度合いというのはそれぞれ違うというところでございますと、そういう意味では1つの目安としてこの震度計があるというところでご理解をいただければというふうに思います。

現在、気象庁が「推計震度分布」というものを、大きな地震があった場合、震度4以上あった場合には、直ちにホームページに公開します。これはどういうものかといいますと、白黒で大変分かりにくいのですが、震度がメッシュ状にどれくらい揺れたかというのが分かるようになっていきます。これで見ますと、実際に震度4以上になったときに、鎌倉市内でここは4だとか、ここは3だとか、ここは5だというのが分かるような分布図になりますので、こういうものを参考にさせていただくと、自分の実際に住んでいる場所では大体震度がいくつなのかというのが把握できるという形になっていきます。というところで、鎌倉市としては現在考えているという状況でございます。

#### <山ノ内下町上町内会 亀井会長>

この提案をしたのは私でございます、先日、大船自町連の懇談会でもお話しさせていただきました。そのときお配りした資料で、私がインターネットで調べたデータなのですが、「揺れる日本列島」というサイトで全国各地の震度の数値が見れるようになっていました。

鎌倉市では、2005年から2010年まで由比ガ浜の元消防本部と現在の市役所の2か所で計測していました。2005年と2010年は年度途中で始まったりやめたりしていますので抜いて、2006年から2009年の間の震度の数値を出してみました。市民防災部長さんにも提出していますので、松尾市長さんも見たと思うのですが、御成町と由比ガ浜で明確に出てくる数値が違っていたのですね。必ず御成町の方が、震度が低い。それから、5月11日午前4時16分、千葉県で震度5強を観測する地震がありました。この時にも鎌倉市と隣接する自治体のうち、震度4が戸塚区、栄区で計測されています。しかし、鎌倉市は震度2でした。

ワンランク違うとかツーランクも違うというのがどうにも理解できません。ツーランク違うというのは、もしかして隣接市で災害対策本部が設置される震度5強が観測されても、鎌倉市は震度4だったりするということにもなったりするのでしょうか。このように震度が違うというのは、震度計が壊れているということではなく、もちろん地盤が強固なためにこういう数値になるのでしょうか、そうしますとどうも現在の鎌倉市の計測場所が鎌倉市の平均になっていないのではないかとこのように思います。

かつて由比ガ浜でも計測していたときには2か所でやっていたから、震度の数値が2つ出ること大いに参考になるものもあったと思います。ですから、もう1か所、鎌倉市でも設置していただくことを検討していただきたい。いま現在1か所しかないし、増設も考えていないということを知りたいのではなく、2か所目を設置することを検討していただきたいと申し上げております。検討していただけるのでしょうか。

#### <松尾市長>

いただいたご意見でございますので、改めてその検討はしていきたいというふうに思います。いまご心配の点として、鎌倉市が震度4で隣接しているの自治体が震度5強というようなことがあった場合に、鎌倉市がなにも動かないということは決してなくて、鎌倉市の震度だけではなくて隣接している市または区の震度でも震度5が出た時には、我々は直ちに出勤をして災害対策本部を立ち上げて対応するということになっておりますので、そこは決してそういうことではないということをご理解をいただければと思います。

#### <山ノ内下町上町内会 亀井会長>

災害対策本部の開設に当たっては、鎌倉市の震度計だけではなく近隣市の震度計も参考にするというのを聞いて、1つは安心しました。しかし、かつては2か所で計測していたのですから、今後の鎌倉市も2か所設置することを検討していただきたい。特に市役所の移転を深沢に持っていくという計画を立てているなら、そちらにも設置していただきたい。たぶん相当緩いでしょうから違う数値が出てくると思うのですね。確かに震度計を設置することについては、国の基準があるということで、もしかしたらそこは緩くて駄目と言われてしまうならしょうがないのですが、そうでない限り市役所移転計画地である深沢にぜひ2か所目の震度計を設置していただきたい。隣接する横浜市は各区で2か所以上、多いところは5か所置いております。また、藤沢市も5か所に地震計を置いて震度を計測しています。なんで鎌倉市は1か所だけなのでしょう。しかも、なぜかつて由比ガ浜にもあったものをやめて、現在の市役所の1か所だけに減らしてしまったのでしょうか。その辺りの事情も聞きたいですね。

#### <市民防災部 永野部長>

由比ガ浜に震度計があって、今の御成町の市役所の場所と合わせて2か所あったとお聞きしたのですが、すみませんがやめた理由というのをはっきり引き継いでいけませんので、そこまで分かっていなかったのですが、たぶん市に1個つけてくださいというのが神奈川県のお考えであって、それでいま防災科学技術研究所が御成町の市役所の敷地の中に作ってくれましたので、こちらにつきましてはイニシャルコストについても何についても防科研の方で払ってくれています。それがあってもう1本由比ガ浜のところにつくるのは、地震が発生した時に県を通じて気象庁にデータを速やかに伝えるためのシステム等々の費用がかかっていたのでやめた、ということもあるのではないかなというふうに推測しているところです。

いろいろ地盤が違いますので、市内に震度計を多数設置すれば、それぞれ異なる数値が出る可能性は高いと思います。特に、今までのことを見ていると、いま震度計がある場所の地盤が強固だから低めの震度の数値が出ているのだろうということは、私どもも推測しているところですが、決してこの数値が鎌倉市内全域の平均値であるというふうに出しているのではなく、詳しくはその場所の震度がいくつだったということですので、そういうふうにつまえていただければと思います。

また、増やすことについて全く検討しないということではなくて、2つある、3つあることがどれだけのメリットを及ぼすのか。それに対して、今のところの試算ですと、当面のイニシャルコストで5,000万円以上かかるであろうということが出ておりますので、市単独でやるべきところかどうかも含めて検討していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

**<山ノ内下町上町内会 亀井会長>**

くどいようですが、横浜市は各区2か所以上、藤沢市は5か所設置しています。鎌倉市1か所というのは寂しいですね。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 大船－4
テーマ	崖地の樹木の伐採等について
内容詳細	今泉地区（今泉一丁目9番道路脇崖）の樹木について、伐採等の対応をお願いしたい。
担当部課	みどり公園課、道水路管理課、道路課

議題に対する回答等	
<p>御要望の今泉一丁目9番道路脇の崖については、過去に市道の安全確保のため、市が設置した落石防止網があるため、崖地の樹木が落石防止網に影響が無いかを確認し、対策を検討してまいります。（道路課）</p> <p>一方、落石防止網に影響が無い場所から生えた樹木については、必要に応じて市から土地所有者に対して、個別に通知するなど、樹木を適切に管理していただくよう要望いたします。（道水路管理課）</p> <p>（道水路管理課の回答を受けて）その後、地権者に既成宅地等防災工事資金助成制度の説明を行い、防災工事の実施を働き掛けていきます。（みどり公園課）</p>	
添付資料	

#### (4) 崖地の樹木の伐採等について

##### <松尾市長>

ご要望の今泉一丁目9番道路脇の崖につきましては、鎌倉市の落石防止網に影響がないか確認して、安全性の確認というところで対策をしてみたいと考えているところです。その他、民有地の部分につきましては、鎌倉市の方で助成制度を近年充実させていただいておりますので、この辺りを含めて地権者の方に情報提供して働きかけを行ってみたいと考えております。市で所有しているところについては、速やかに危険木について対応してみたいと考えております。

##### <今泉町内会 高橋会長>

この問題は、今泉、今泉台の住民にとって深刻な問題でして、一地主者がこう思っているといつて地主者だつてなかなかできないような状況のところだと考えます。そのためにこの問題を出したのですけれども、これで言いますと、金網が張つてある部分から出ている木だけ伐採していただけるという話でしょうか。

##### <松尾市長>

道路に影響があるというところも行います。

##### <今泉町内会 高橋会長>

バス通り全体の道路を考えて、ある程度やっていただけると思つてよろしいでしょうか。

##### <松尾市長>

そういう感じです。

##### <今泉町内会 高橋会長>

前広な考えでやっていただけるというところは、大変ありがとうございます。先ほどの隧道の件も含めまして今泉は割とこういうところが多いので、なるべく住民が安心できるよう、安全・安心をうたっている市としてはこういうところをなるべく早く察知していただきたいと思つています。隧道の方もレベル4のところはレベル3と聞いていますし、私たちは開削を求めて議会を通して市に提言しました。土砂だってトラック4、200台分出ますが、この土を深沢の市庁舎を造るところに、水が上がらないように持つていっていただけるとすぐ市としてはよろしいのではないかと、私はそういう提言をしたいと思つています。伐採していただけることを大変うれしく思つています。ありがとうございます。

##### <山ノ内中町北町内会 古川会長>

今の崖地の樹木の伐採の件については、以前もお話したかと思うのですが、今泉台の宅地の方から明月院通りのかなり急な坂を下りてきて、明月院の前からJRの踏切の県道につながつております。やはり今泉台から下りてくるところのくねくねしたところは相当な崖地で、民有地のところもかなりございます。そこで、鎌倉市の都市景観部みどり公園課ですか、そちらと再三、倒木の伐採手続を進めさせていただいている中で、連携して、やはり自費になりますけれども、住民の役員をなさっている方々が、公図を取り、現地の写真を撮り、

そしてみどり公園課の支援も併せて当事者に郵送物を送りました。ここに一式ありますけれども、それなりの作業をしていますが、やはり民有地に関してはアクションを起こす方は人任せな話し方になるわけですよ。自分はとてもそういうのはできません。不動産会社の方にうまくお願いしてなんとかありませんか。そちらの方に全て任せますとか。伐採することに対してはなんら抵抗を示さないにしても、具体的な一歩、半歩を踏み込むということをしてくれる方は非常に少ないのです。昨日たまたまここに携わっている役員の方、お隣の町内会の方ですけど、その方がおっしゃっていたのは、やはり費用負担はしますというような電話だけの交渉で、それだけの資力があるのかどうかは、やはりこれだけの住民の安全を守るために費用をかけてやるためには当事者に会わなければいけないから出向くことを考えていますと。

住民は自分たちの地域の安全を守るために、相当な労力をかけています。そういうところを市の方からも、しかるべき、これは費用負担の伐採の工事助成金を出しているわけなので、側面のフォローアップをせずにやはり強力にさせていただきたいのです。住民側は、個別なそういう相手に対する折衝能力がある方を選んで、出張って、それなりの信用できる方であるならば、当然、費用負担を先にこちらの方が取らざるを得ない窓口対応になりますので、そういうこともあろうかと思えます。ケース・バイ・ケースですが、そこをひとつやっていただきたい。

ちょっと話が側面にずれますが、あの急カーブの中で、いわゆる暗渠になっていて、相当な鉄筋が入った暗渠蓋がもう老朽化してポコポコになっているわけですよ。道水路管理課に1年前から物申しても、つい6月の末に途中経過ですということで若手の窓口担当から私のところに電話をいただきましたけど、残念ながらまだ予算組みはできていないと。これは道路課の仕事ですと。縦割り事業でしょうから、道水路管理課の水路といえども、暗渠の大工事になると道路課が専属で請け負う仕事になるので、予算を取らなくちゃいけないと。そういうものを1年も放置して、それで窓口の他の部署の人間に状況を報告させるというのは、これやっぱり責任の所在をしっかりと痛く感じて、それなりの指示系統をしっかりと出して、しかるべき役員のところにお話をするとかあるでしょう。ヤンヤヤンヤつつく、うるさいお隣の町内会にはとりあえず電話しておこうというような感じにしか聞こえません。

残念ながら、私のところの町内会で、今日、JR踏切の脇側の市道ですけども、やはり細い暗渠の部分から、側溝のコンクリートの蓋をしているところを、作業センターがようやくこれは1か月ぶりに腰を上げて直しに入っている現場を見ながらこちらに来ました。ですから、しつこくやっていって、住民が電話なりなんなりしてうるさいところを先にやろうという気持ちも分かるわけじゃないんですけど、しっかりと、どういう問題を最優先でやるかということは逐次把握して指示系統を出していただきたいと、そういうことを最後に付け加えてお願いしたいと思えます。よろしく願いいたします。



令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 大船-5
テーマ	ごみ問題について
内容詳細	戸別収集の開始時期等について伺う。 生ごみ削減の抜本的対策について伺う。
担当部課	ごみ減量対策課

議題に対する回答等

戸別収集の開始時期等について

戸別収集の開始時期につきましては、現時点では決定しておりません。

現在、本市の戸別収集のあり方や進め方を整理した実施方針の策定、以前実施に至らなかった課題の整理を行っています。

戸別収集に対しては様々な御意見があることから、実施方針の策定に当たっては、有識者や市内関係者が含まれる鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会での諮問・審議を踏まえ、素案を公表し、年内には市民説明会やパブリックコメントを実施したいと考えております。また、実施方針の決定後、予算を計上して、事業者（収集業者）の選定手続に入りますが、事業者が車両や人員の手配に時間を要することから、契約から事業開始までに1年程度必要になることも想定されます。以上のことから実施までには複数年要することを想定しています。

今後ますます進展する高齢化や生活様式の多様化を見据えると、戸別収集の導入は必要と考えておりますが、戸別収集は、市民の皆様の御理解、収集の効率化等による経費の圧縮、収集業者の体制が揃って初めて実施可能になるものです。効率的な収集体制の構築、関係経費の算定を行った上で、市民説明会やパブリックコメントを実施していく予定ですのでぜひ多くの御意見を御寄せいただくようお願いいたします。

生ごみ削減の抜本的対策について

鎌倉市の組成調査では、家庭から出る燃やすごみの約43%は生ごみであるという結果が出ており、その発生抑制については、生ごみ処理機購入費助成制度を積極的に案内し、生ごみ処理機の普及促進を図るとともに、フードドライブの実施、家庭

における水切りの啓発などを地道に展開し、生ごみ削減に繋げていきたいと考えています。

減量に御協力いただいたうえで発生する生ごみについては、生ごみ資源化施設を整備し減容・堆肥化する計画としています。このことについては、施設整備候補地周辺住民の皆様から減容・堆肥化施設に対し御不安の声をいただいていることから、周辺町内会と市で構成する協議会において、堆肥化に限定せず資源化手法を市と一緒に検討して御協議いただけるよう市からお願いをしており、最適な資源化手法の検討を行っていきたいと考えています。

添付資料

## (5) ごみ問題について

### <松尾市長>

先ほど、ご説明したところの中の開始時期等についてです。こちらについては、明確に何年何月からというところにはまだ至っていないところです。ご説明させていただきましたとおり、鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会に諮問して、審議をいただいているという状況です。この中で実施方針を決定し、それを基に市民の皆さんや議会等からもご意見を伺いながら、最終的に決定をしていくという、こういう流れで進めているところでございます。

そして、生ごみ削減の抜本的対策というところでございますが、こちらにつきましては、基本的には各家庭での処理をお願いしたいというところで、これまでかなり自家処理の生ごみ処理機の助成を出してきているところでございますが、それでもまだ全体の半分弱が生ごみという状況がございます。こちらにつきましては、いま現在、どういう方法で生ごみを処理していくかというところの協議をさせていただいているところでございまして、こちらにつきましても明確な決定というところではございませんけれども、引き続き協議を行わせていただきたいところでございます。

### <鎌倉市大船自治町内会連合会 秦副会長>

今も生ごみの話が出ましたけれども、ある町内会長さんから、生ごみ処理機を奨励している割には助成金が上限4万円から3万円に減らされたというのはちょっと逆行しているのではないかと、というお話もありましたので、担当部長さん、その辺はどういう理由ですか。やっぱり予算ですか。

### <環境部 能條部長>

生ごみ処理機の助成金につきましては、非電動型コンポストについては9割補助、電動型が75%補助にしております。上限はこれまで4万円だったのを3万円にしております。それは、かなり高額な機器を購入する方が増えてきて、上限いっぱい補助するような状況が続いておりましたので、できるだけ広く皆様に補助制度を使っていたきたいということで上限を下げ、ただし枠は広げて予算は少し増やして対応しているところでございます。

### <今泉台町内会 山本会長>

全体の枠を増やしてもらえという話ですよ。だけど、鎌倉市はいろいろな自治体の中でも、確かに助成金の金額は電動式の75%など高いということは分かっているのですけれども、鎌倉市は生ごみの焼却施設を全部なくしてしまおうという方向できたわけですよ。でしたら、生ごみを徹底的に減らすというふうには考えなきゃならんわけですよ。市としても、もちろん住民に対してもそういうお願いをしなければならぬと思うのですよ。だったら予算の枠を少し増やしたというのではなく、もっと増やしてですよ、75%、90%、あるいは100%まで持っていくんだと。そのくらいの意気込みがない限りは、生ごみ問題は抜本的な対策にはならないよ、ということをお願いしたいのですよ。お分かりですか。

ちょっと増やしましたでは駄目なのです。本気になって生ごみをゼロにしよう。ゼロ・ウェイストと言っている限りはゼロにしよう本気に思っているのですか。本気で思っているならば、はっきり申し上げて上限を下げて広く広めようというのではなくて、上限は最低でも維持しつつ広めようと、さらに予算を増

やそうと、そういう考え方に立たないと抜本的な対策にならないと思いますけど、いかがですか。

#### <松尾市長>

ご指摘のとおり、予算としては、年度途中で予算が足りなくなってきたら補正予算でカバーをして、ここで打ち止めでこれ以上無理はしませんみたいなことにはならないように、という考え方では進めています。

一方で、この上限額についてなのですが、かなり高額のものが出回っているのですが、そんなに高くないのではないかなという、あまり言いにくい話を言っているような気もするのですが、市の上限がここまであるから定価をそこに合わせて設定しているものも世の中には出回っているのですよね。それはちょっとよろしくないという思いはございます。3万円の補助があるとほとんどの生ごみ処理機は購入できるものから、その辺のところでは金額については考えさせていただいているというところはございます。

#### <戸ヶ崎あけぼの会町内会 市川会長>

うちはコンポストの補助をいただいて、電動型のものでなくて90%でいただいたのですが、たまたまそういう情報が手に入ったので何年か前に入れさせていただいたのですが、鎌倉市で実際に利用されている件数というのはどのくらいあるのか。それこそもっと普及していてもおかしくないのではないかなと思う件もあるのですが、そういう広報活動とかがきちんとされているのかどうか。実際にいま鎌倉市の中で、どのくらいの割合で導入されているのか。その辺のことと、あと広報活動について教えていただければと思います。

#### <環境部 能條部長>

生ごみ処理機の普及割合ですが、あくまでも推計ですが、補助した件数で大体、耐用年数5年ぐらいというふうにもう少しもつとは思いますが、5年ぐらいでおそらく使用をその時点で一定数やめていく方ですとかそういった方がいらっしゃるのその辺を加味すると、大体17%から18%ぐらいの方がお使いになっているのではないかと推定をしています。この数字を他市の、すみませんが出典を失念してしまったのですが、生ごみ処理機の普及割合からすると、かなり高い割合だというふうに思っております。たしか一桁台の数%というようなところだったと記憶しております。補助制度のない市もありますし、先ほどご紹介いただきましたけれどもかなり高い割合で補助をしており、あと市民の皆様の意識も高いということで、かなり高い普及率になっているというふうに考えています。

広報活動ですけれども、ホームページ、SNS、それから広報かまくらにも時期を見て掲載しているということと、市内で行われているイベントにブースを設けて生ごみ処理機の紹介をしているということと、町内会へ説明会に出向いたときに生ごみ処理機のご使用について少しご紹介をさせていただいているというところではあります。

まだまだ普及の余地があるのではないかとということと、鎌倉市としてこれから先も生ごみの焼却を減らしていく方針ですので、生ごみの資源化、自家処理をもっともっとお願いをするという立場でございますので、今後とも普及促進策については充実していきたいと考えております。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 大船-6
テーマ	自治町内会等について
内容詳細	人数減少による町内会の合併や敷地の問題など、自治町内会等自体に関する問題について、市としてのアドバイス、介入について伺う。
担当部課	地域のつながり課

議題に対する回答等	
<p>市としましては、各行政区域に設置している支所について、地域コミュニティの拠点として、地域で活動されている様々な方と連携を図ってきており、今後は支所機能の中でも地域支援機能をさらに充実していく考えもあることから、自治会町内会等の問題が発生した際には、支所にご相談いただければと思います。</p> <p>また、地域のつながり課では、令和3年度（2021年度）に「自治会・町内会運営のためのハンドブック」を改訂し自治会町内会長の皆様へは既にお配りしたところ です。併せてご活用いただければと思いますのでよろしく願いいたします。</p>	
添付資料	

## (6) 自治町内会等について

### <鎌倉市大船自治町内会連合会 秦副会長>

自治町内会等についてということで、皆さんもご承知のとおり、人口減少ということで、町内会の存続に関わるのが昨今非常に問題になっておりまして、大船地区もその例外ではございません。今までですとなんとかやってこれたけれども、これから5年先、あるいは10年先、非常に厳しい状況が続くと、そういうふうに思われております。これは市に積極的に介入していただけませんと、最小限のコミュニティが自治会・町内会ですので、いま皆様がお考えになっていることがきちんとできない状況に陥るということで、大変難しい問題ではございます。大事な話だと思しますので、その辺をまず市長から、どういうふうにお考えになっているかを聞きたいと思っております。

### <松尾市長>

お話のとおり、自治会・町内会の皆さんにはさまざまなお願い等もさせていただいており、大変恐縮でございます。そうした皆さんとの連携協力関係がないと、なかなか行政のやっているところを隅々まで皆さんにお伝えするということが現実的には難しいですし、それ以外のさまざまな点で地域を支えていただいているというところは大変重要だというふうに思っています。

全国的にも会員の減少というのは問題になっていますので、あの手この手というところで、そういうところを参考にしておりますけれども、鎌倉市とすると、今年、自治会加入促進のチラシ、皆さんお手元にもあるかもしれませんが、これをリニューアルさせていただいて、そういうことなら自治会・町内会に入ろうかなというような中身になっているかなと思っておりますので、そういうものを積極的に活用しながら、今後の加入促進についてはしっかりと進めてまいりたいと思っております。当然、新しく鎌倉に転入される方には、自治会の加入促進についてご案内をさせていただいているところでもございます。

### <大船仲通町内会 権頭会長>

既にご存じのように、駅前の町内会、商店会がなくなったということで、我が大船仲通町内会もほとんど会員は商店の方だけですから、ほとんど住んでいない方が会員に入ってもらっているという状況です。やはり会員をやる人、役員をやる人がほとんどいなくなって、仲通もやばいなという状況で、今日、隣の田園町内会も来ていませんけれども、田園町内会とうちと、それから松竹前町内会とか梅田町内会とかで、合体した町内会みたいなのをつくりなないと、おそらく近い未来にはやっていけないう状況です。やっぱり若い人がいなくなったりとか、したがってその辺のお手伝いをしていただけるのかなというような、要はいろいろな町内会の規約とかあったり、お互いになかなか踏み込めないところもありますけれども、いろんな知恵を市の方から拝借していただければやりやすいのかなと思っております。やっぱり町内会がなくなるということは、市の連絡が住民に行かなくなるということになりますし、よくすぐホームページを見てとか広報かまくらに載っていますというけれども、年を取っている人なんていうのはそんなの見ませんよ。おそらく回覧とか、そういうものは回って来て見たりするのもあるんでしょうけど、年中、鎌倉市のホームページをチェックしたりしている人はそんなにいないんじゃないかなと思っておりますので、ひとつその辺も併せて問題が起きたときのアドバイスとか、積極的な介入をしていただきたいと思います。現に瀧澤次長にはお世話になっておりますけれども、駅前のいろいろな問題に介入していき積極的にやってもらっていますけれども、今後また出てくるんじ



やないかと思しますので、その辺のフォローをお願いしたいと思します。

**<松尾市長>**

支所の方でしっかりと地域の皆さんのご支援というところはやらせていただきますので、ご相談いただければと思します。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 大船-7
テーマ	公園等の設置について
内容詳細	公園の設置基準について伺う。 小袋谷地区には小さな子ども達が安心して遊べる砂場や遊具のある公園等が無い状況である。例えば、放置自転車保管場所を他の場所（JR引込線等）へ移し、公園をつくるなど、市としての考えを伺う。
担当部課	みどり公園課 都市計画課

議題に対する回答等	
<p>公園等の設置に関する方法については、都市計画においてあらかじめ公園設置の区域を設定するものと、マンションなどの大規模な開発事業に伴い設置されるものの主に二つのケースがありますが、古くからの市街地であることもあり、公園が整備される機会が少なかったと思われます。</p> <p>引き続き、開発事業に伴う公園の設置や用地提供の機会を捉える等、情報の収集に努め、身近な生活空間での公園等の充実に努めてまいります。</p> <p>放置自転車保管場所には、一定の面積が必要であり、かつ、土地の形状、保管場所までのアクセス、周辺住民の方の理解が必要になることから、市内で用地を確保することは難しいのが現状です。例えば、自転車を運搬するトラック等が保管場所の敷地内で容易に方向転換できるなど一定の幅と長さが必要と考えます。</p> <p>JR引込線跡地を放置自転車保管場所として利活用することについては、当該敷地の幅が狭いことなどから難しいと考えています。</p>	
添付資料	

## (7) 公園等の設置について

### <鎌倉市大船自治町内会連合会 秦副会長>

公園等の設置についてということで、公園の設置基準について伺いたいと小袋谷町内会長さんの手が挙がっていますが、小袋谷地区には小さな子どもたちが安心して遊べる砂場や遊具のある公園がない状況にあります。例えば、放置自転車保管場所を他の場所へ移し、公園にするなど市としての考えを伺いたいということなのですが、まず設置の基準はあるのかと、それから放置自転車をJRの跡地に持っていくといったアイデアがあるのか、そういうことを聞きたいということなのですが、いかがでしょうか。

### <松尾市長>

明確に何か基準があるということではございません。そういう意味では、ご提案いただいたような市が持っている土地について活用していくというようなところも、ひとつの提案として受け止めさせていただきたいというふうに思います。

今回ご提案いただいた放置自転車保管場所でございますけれども、放置自転車保管場所を移す適地というのがなかなか見つからないというようなところもございますので、なかなかご提案どおりにはちょっと難しいかなというふうには思いますけれども、全体として現在は公園の遊具なども老朽化がかなりに一斉に起きてしまって、遊具の撤去を一斉にさせていただいているという状況もあります。この辺りもなるべく早く遊具も設置をさせていただくようにしたいと考えておりまして、遊具の充実等を含めて対応は検討してまいりたいというふうに思います。

### <小袋谷町内会 朝香会長>

先ほど市長は特に決まりがないということでしたけれども、住民1人当たりの都市公園の敷地面積の標準というふうなことは当てはまらないのですか。

### <松尾市長>

住民1人当たりのというのは、1つの目安としてはございます。それで言うと、鎌倉市は広町、台峯という大きな公園を持っていますので、そういう意味では、国が示す公園の補助が出る基準では、鎌倉市は既にたくさん持っているでしょうという形にはなっています。

### <小袋谷町内会 朝香会長>

小袋谷町内会は世帯数としては大体千二、三百ですね。ここには公園がなくて、隣の町内会の公園にベビーカーで道路を渡って、この町内会の住民が行くわけですね。では隣の町内会は随分大きな町内会かという、そうではない。よく行くのは、つまい町内会や市場町内会、台町内会とかにもありますけれども、それらは遥かに世帯数が少ないのですね。

それでちょっと調べたのですが、別に台町内会ではないのですが、末広町町内会とか、それぞれ縦長にちょうど小袋谷町内会の道路を隔てて反対側のところをざっと調べました。公園といっても私が言っている公園はそんなに大規模なものを言っているわけではないのですよ。ブランコもあって滑り台があって砂場もある。そういったものをちょっと調べたら、台ポニー公園、ここには滑り台があって、ちょっとした乗り物があ

る。台はなみずき公園、ここには滑り台が2つありますね。台すすき公園、ここにも乗り物が2つある。台くすのき公園というのもありまして、台ぶどう公園には鉄道の乗り物もある。そして台いちご公園というのもあり、シーソーがあって滑り台があります。台あらかし公園というのもあり、鉄棒が2つでベンチもある。その他に一番大きい台五丁目公園というのがあり、一番ここへよく行くのですけど、あるのですね。それから台やまもみじ公園もあります。いま言ったのは全て台という名前がついているところで、町内会が1つということはないのですけれども、これだけあるわけですよ。

小袋谷の町内というのは、非常に長い町内なのですけど、たまたま成福寺という線路のところにあるお寺ですが、そこの住職が22歳なのですけど、ちょうど新住職になったのですよ。それで町内の方のお話を聞きたいということで、私、町内会長と氏子会長とでいろいろ話に行きました。自分はもうずっとここに生まれて育っているが、あまりよく分からないからということで話しているうちに公園の話になったのですが、自分はいつも台五丁目公園に子どもの頃から行っているが、そういえばうちの町内には公園が1つもないことに気がついたと。これ、住んでいる人たちが気づかないこと自体、寂しいことだと思ったのですよ。そういうものだと思わされている。要するに、市の行政として、住民からなにか苦情なり陳情があった時に動くということなのか。それとも、この地域の人たちにはこういうものをこうしてあげたいなとかいう発想があるのかと。

いま言ったように、台という名前がついている公園がいくつもあるなんていうのは、担当の部署の方は当然分かっているわけですよ。そして、小袋谷の町内のところには何もないというのも分かっているわけですよ。でも、何も言わなければ造る必要もないし、それで、大きなマンションが建てられるとそこに小さな公園ができるという形がありますよね。あれは一体どういうふうになっているのでしょうかということなのですよね。なぜかというと、小袋谷の町内にもこの十数年に大きなマンションが4つぐらいできているのですよ。マンションのみです。一切そういったものはついていません。ですから、その辺の基準、建物の階数とか、戸数がいくつとか、そういったことで公園を付帯させるかどうかというのはあるのかと、その辺をちょっとお聞かせください。

#### <都市景観部 古賀部長>

マンションを造った時に公園ができる基準についてご説明したいと思います。これは都市計画法という開発の法律で決まっております、敷地の面積が3,000平方メートル、これを超えるような敷地のマンションの場合は、市の開発の条例と合わせて300平方メートル以上の公園を提供しなさいというような基準になっております。ですので、会長がおっしゃった最近大きいマンションができたけど公園がないというのは、おそらく3,000平方メートルに達していないのではないかなというふうに思います。

いまお話を伺って、どうしても地域によって偏りが出てきてしまうというのは私も市内を見ていて感じておりまして、特に駅の近くですとか、意外に旧鎌倉地域なども公園が少なく、多々ご要望いただいているところなのですけど、なかなか用地がないとできないということで、非常に対応については苦しいお答えをするしかないというのが実情でございます。

そういうふうに関係によってできた虎の子の公園ですので、大事に維持管理をしていきたいなというところが気持ちとしてございます。その上で、冒頭に市長からも説明がございましたけれども、いまでも古い遊具がたくさん出てきておりまして、つくり換えなければいけないという時期にちょうど差しかかっております。遊具の更新の際には地域の皆さんにアンケートをとっているということを実施しておりますので、その

時に例えばこういう遊具がいいんじゃないかとか、欲しいとか、そういうご意見があったらぜひその時にでも申し上げていただければ、なるべく応えていきたいなというふうに考えているところです。

#### <小袋谷町内会 朝香会長>

そうすると、私の方で調べた町内のマンション、敷地面積まではちょっと分からなかったのですが、基本的に7階建て、8階建てというものもあるんですね。戸数的には大きいもので大体60ぐらい。あとは40ぐらいですかね。そうすると、それぐらいだとさっきの基準に合わないということなのですかね。逆に言うと、いま公園がついているマンションはそれに合致したからついていたということですか。さっき申し上げた小さい公園はほとんどそれに近いのではないかなと思うのですが。そばにマンションがありますから。

#### <都市景観部 古賀部長>

今の3,000平方メートルという基準になったのが平成14年頃なので、それまでは2,000平方メートルでも公園を造りなさいということを経営者に指導していた時代もありました。必ずしも過去に造ったものが3,000平方メートル未満でないということではないのですけれども、平成14年以降については3,000平方メートル以上の敷地ということになっております。

もう一つは、鎌倉市の場合ですと、マンションを造る時の道路の基準を年々厳しくしております、結果的に大きいマンションを造れるエリアとそうじゃないエリアというのは、どうしても地域的に大きく分かれてきているところです。ですので、道路がそんなに広くない既存の住宅地については、3,000平方メートルを超えるような大きなマンションを造りにくいというような状況になってますので、どうしてもそれに伴ってマンションに付随した公園も設けられにくい状況が生まれているというのが実情でございます。

#### <小袋谷町内会 朝香会長>

あと一つだけお願いします。先ほどの放置自転車の保管場所の件、その件に関しては私の方からは提案してはいないのですよね。気を遣ってくれたんだと思うのですが。

小袋谷こどもの広場はご存じですよね。あそこの広場は全体的にちょっと変形になっているのですよね。なぜかというとならぶからなのですから、あそこ全部を広場ではなくて、少し変形した部分に市の方でいま言った遊具のある公園を設置していただくということではできないのでしょうか。私の情報では、あそこの地権者から広場を市に買ってほしいというような話を以前からしてあるというふうに聞いたのですが、お金もかかる問題ですが、その辺はどうなのでしょう。

#### <都市景観部 古賀部長>

そのとおりです。そこは市の土地ではありません。これは法律論のお話でちょっと恐縮ですけど、都市公園法という法律をかけていない任意の公園というような位置づけになっていますので、どうしても遊具ですとかハード面の整備がしづらいという状況がございます。

ただ、1つ申し上げておきたいのは、まさにあの広場というのはこのエリアにおいては本当に貴重な子どもたちが遊べる広場だと思っていますので、個人の土地だからといって売られてしまなくなってしまいうような状況はなんとしてでも避けたいというふうに考えているところです。ですので、もし仮に市の土地

になった暁には、公園として整備するという可能性も出てくるかと思しますので、今この時点では申し上げられないのですけれども、そういった方向でできたらいいなという強い思いは持っているところです。

#### <山ノ内下町上町内会 亀井会長>

私の町内会にぞうさん公園というのがあり、7年前にぞうさんの形の滑り台の滑走部分に穴が空きました。FRP製なのですが、穴が空いて危険だからなんとかしてほしいということでみどり公園課と公園協会に相談申し上げたところ、危険な遊具だから撤去する、撤去したあと新しいものを入れてくれるのか、通称ぞうさん公園だからやっぱりぞうさんの滑り台が欲しいよと言ったら、いやそんな予算はないから撤去して更地にするだけだと。それはあんまりだということで、公園愛護会で毎年3万円いただいて5年間やっていたので、15万円の蓄えがありました。民間の屋上防水などをやるFRP業者に相談したら15万円の予算があるなら充分修理できるということで、みどり公園課と公園協会の承諾を得て、私ども町内会の権限と予算で修理しました。

修理が終わったところで、その程度の予算で直ったのなら公園協会の方で負担してあげるということで、結局お金を出していただいたのですが、その時は本当にありがとうございました。だけど、そもそも公園遊具を修理できるのに、全く修理は眼中にないというような対応には、少し呆れたものがあります。安全基準を満たすとか難しいでしょうし、公園遊具メーカーにとっては修理など受け付けなくて常に新しいものを売ったほうがいいですから、そういう態度になるのもしょうがないのですが、予算がない中で遊具の維持を考えるなら、修理について職員の方ももう少し前向きに考えていただきたいなと実例をもって申し上げたいです。

#### <都市景観部 古賀部長>

今のお話を伺っていて、全くもってとんでもないと私も同じように思いました。そういうことがないように周知徹底していきたいと思えます。まずはおわび申し上げたいと思えます。申し訳ございませんでした。

#### <戸ヶ崎あけぼの会町内会 市川会長>

つい先日、みどり公園課から私にお電話いただきまして、近隣のさくら青少年広場で陥没があったということでした。それについては私も了解はしたのですが、私たちの方から各自治会会員に連絡する手段がないのです。今日も担当者の方にお電話いただきましたが、例えば市民に連絡する術としてツイッターだとかLINEだとかで、市役所も緊急性があるものについてはその土地に関係あるなしにかかわらず、こういう事象が発生しましたよ、それは解決しましたよ、という緊急的な広報活動というのをやっていただきたいと思えました。なにもお金がかかることではないので、ぜひお願いしたいということで一言申し上げます。よろしく願います。

#### <都市景観部 古賀部長>

それにつきましてはご提案までいただいて、大変申し訳なく思っております。ぜひやっていきたいと思えます。今回の陥没については結構規模が大きいということで、少し工事の時間がかかるようですので、正にそういう周知をしていかなければいけないと思っているところですので、対応の方は戻りまして検討していきたいと思えます。ありがとうございました。